

カレッジ音楽科シラバス

科目名	コンピューターミュージック(トラックメイク)		担当教員名	横野 康平
時間数	60(4単位)	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	606・501
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する用意した楽曲(課題曲)のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める(不足パートを制作する)。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャーする。</p> <p>【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	基本操作、ドラム音源の仕組み、ドラムの打ち込みが出来るようになる		
2	演習	コードの仕組みを理解し素早く打ち込むことが出来るようになる		
3	演習	ベースやギターの入った楽曲を元に素早く構成を作れるようになる		
4	演習	HIPHOPなどのコードがグループしている楽曲構成を素早く作れるようになる		
5	演習	シンセサイザーの仕組みを理解し簡単な音色などは自分で作れる様になる		
6	演習	アルペジエーターを学び楽曲に彩りを加えられるようになる		
7	演習	Pad,bell,stringsなどを使って曲に華やかさを加えられるようになる		
8	演習	参考音源を使ってオートメーションを学び曲に変化を加えられるようになる		
9	演習	SEについて学び楽曲を派手に聴かせられるようになる		
10	演習	サンプリングを習得しLoop素材などをカスタマイズ出来るようになる		
11	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる1(色々なサイドチェイン)		
12	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる2(音色のレイヤー&mix)		
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教科書	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		
学生への メッセージ	一からの授業になります。各自のレベルは気にせず知りたいことがあればどんどん質問しに来てください。			

カレッジ音楽科シラバス

科目名	コンピューターミュージック(トラックメイク)		担当教員名	横野 康平
時間数	60(4単位)	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	606・501
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する用意した楽曲(課題曲)のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める(不足パートを制作する)。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャーする。</p> <p>【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	Maschineの概要説明Sampler内にある機能の紹介,Drum synthを使って常識にとらわれないDrumKitを作りビート作り。		
2	演習	MaschineのAudioのLoopModeの説明とアイデアの考案、Note modeを使って直感的なトラックメイキングに挑戦。レイヤーテクニックの紹介。		
3	演習	海外研修に向けたサウンドメイキング		
4	演習	Maschineでベースラインとメロディーの打ち込み。		
5	演習	Maschine内でアレンジを完成させる。Slice方法の紹介。		
6	演習	Maschineで作った素材の書き出し方、Ableton Linkでの同期方法、FXの使用例と作り方。Macroの設定方法。Automationの書き方		
7	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
8	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
9	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得1- Launch Modeを使ってサンプラーっぽく使ってみる		
10	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得2- Launch Modeを使ってランダムイズだけでフレーズを作ってみる。		
11	演習	Ableton Live内の"wbtable"の基本的な使い方からアフタータッチなどのMIDI control設定まで理解する。		
12	演習	MacroやMap機能またMaxForLiveなどを使ってエフェクターやシンセを拡張する術とAbletonのオートメーションを学ぶ。		
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教科書	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		
学生への メッセージ	一からの授業になります。各自のレベルは気にせず知りたいことがあればどんどん質問しに来てください。			

カレッジ音楽科シラバス

科目名	コンピューターミュージック(トラックメイクアドバンス)		担当教員名	横野 康平
時間数	60(4単位)	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	605・606・501
授業の到達目標	ダンスミュージックのジャンルを分析、習得し各自の曲中で使えるようになる事が目標。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 毎回ポイントとなるパートが虫食いになっていたり、制作範囲を指定されるので各自実習時に埋める、又は制作する。 MaschineやPushも取り入れていくが台数に限りがあるのでその場合はグループワーク形式で授業を行う。 【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	Maschineの概要説明Sampler内にある機能の紹介,Drum synthを使って常識にとらわれないDrumKitを作りビート作り。		
2	演習	MaschineのAudioのLoopModeの説明とアイデアの考案、Note modeを使って直感的なトラックメイキングに挑戦。レイヤーテクニックの紹介。		
3	演習	Maschineでベースラインとメロディーの打ち込み。コードストローク。		
4	演習	Maschine内でアレンジを完成させる。Slice方法の紹介。		
5	演習	Maschineで作った素材の書き出し方、Ableton Linkでの同期方法、FXの使用例と作り方。Macroの設定方法。Automationの書き方		
6	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
7	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
8	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得1- Launch Modeを使ってサンプラーっぽく使ってみる		
9	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得2- Launch Modeを使ってランダムイズだけでフレーズを作ってみる。		
10	演習	Ableton Live内の”wabtable”の基本的な使い方からアフタータッチなどのMIDI control設定まで理解する。		
11	演習	MacroやMap機能またMaxForLiveなどを使ってエフェクターやシンセを拡張する術とAbletonのオートメーションを学ぶ。		
12	演習	Abletonでのクロスフェード機能を使ってDJMixやゲーム音楽家のシーン展開を作ってみる。(ステム差し替えなど) Ableton Liveに収録されているエフェクター10選		
13	演習	テストMaschineとLiveのみでdemo作り。		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		
学生への メッセージ	今年はガジェット寄り(Maschine push ableton live)の考え方を強化していく方針です。			

カレッジ音楽科シラバス

科目名	コンピューターミュージック(トラックメイクアドバンス)		担当教員名	横野 康平
時間数	60(4単位)	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	605・606・501
授業の到達目標	ダンスミュージックのジャンルを分析、習得し各自の曲中で使えるようになる事が目標。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>毎回ポイントとなるパートが虫食いになっていたり、制作範囲を指定されるので各自実習時に埋める、又は制作する。MaschineやPushも取り入れていくが台数に限りがあるのでその場合はグループワーク形式で授業を行う。</p> <p>【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	Electro House-ダンスミュージックの基本的考え、構成の習得		
2	演習	FutureHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる		
3	演習	Complextro House-音色又はフレーズのコーラージュで楽曲を制作出来るようになる事		
4	演習	Drum&Bass-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる		
5	演習	DubStep-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる		
6	演習	DirtyTrap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる		
7	演習	GlitchHop-スイングしたビートを作れるようになる		
8	演習	Future bass-切ないコード進行の分析を行った後Dropで使われている手法を習得する		
9	演習	Lofisound-LofiHipHopなどに使われる手法を習得し作品をつくってみる		
10	演習	ElectroSwing-BigBandSampleなどをサンプリングし説明を参考にし実際に作ってみる		
11	演習	ElectroJazz - Anomalieなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる		
12	演習	ElectroJazz - FKJなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる		
13	演習	1コーラステスト、時間内に楽曲制作		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	インターネット等で予習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		
学生への メッセージ	例年通りジャンル別分析と実習になりますが今年はガジェット寄り(Maschine push ableton live)の考え方を強化していく方針です。個人的な質問などは随時募集中です。			